

スイング式ひだ取り装置

S159・S160

S161・S162

取扱説明書

No.03
29114816

安全に使用していただくために使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
また、いつでもすぐに読めるように、この取扱説明書を保管してください。



注意

本取扱説明書は、S159/S160/S161/S162についての説明書です。本製品をMO-3000, MO-6000シリーズに取り付けて使用される際は、事前にMO-3000, MO-6000シリーズの取扱説明書の「安全についての注意事項」を読み、十分理解の上でご使用ください。なお、S159/S160/S161/S162を強調するため、MO-3000, MO-6000シリーズのイラストは簡略化されています。従って、安全装置のイラストも一部省略しております。

1. 名称

- MO-3000, MO-6000 シリーズ用スイング式ひだ取り装置
 S159：インターロック用スイングひだ取り装置（ペダル式）
 S161：インターロック用スイングひだ取り装置（手動式）
 S160：オーバーロック用スイング式ひだ取り装置（ペダル式）
 S162：オーバーロック用スイング式ひだ取り装置（手動式）

2. 適用機種

| | | |
|---------------|----------------|---------------|
| MO-3 △ 04-0E6 | MO-3 △ 04-0F6 | MO-6 △ 14-BE6 |
| MO-3 △ 14-BD6 | MO-3 △ 14-BE6 | MO-6 △ 16-DE4 |
| MO-3 △ 14-BF6 | MO-3 △ 16-DE4 | MO-6 △ 16-FF6 |
| MO-3 △ 16-DD4 | MO-3 △ 16-FF6 | |
| MO-3 △ 16-DF6 | MO-3 △ 43-FBD6 | |
| MO-3 △ 16-RH6 | | |

3. 仕様

| | |
|-------|--|
| 用途 | メリヤス、薄物ニット、ブロード等の薄手生地連続、部分ひだ取り |
| 使用回転数 | ～7000 rpm |
| 差動比 | オーバーロック 1：3 インターロック 1：3（使用布によって適宜調整ください） |
| 押え上昇量 | オーバーロック：6 mm インターロック：6 mm（ただしRH6のみ5 mm） |

4. 同時交換部品

S159, S160, S161, S162 を使用するときにはゲージ部品が同時に換わりますので下表により選んでください。

(1) インターロック系 (MO-3 △ 16, 3 △ 43, 6 △ 16) S159, S161 のとき

| ゲージサイズ 名称 | DD4 | DE4 | DF6 | FF6 | RH6 | FBD6 |
|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|
| 押え結合 | 12154654 | 12154654 | 12154753 | 12154852 | 12154951 | 11975950 |
| 主送り歯 | 12170700 | 12170700 | 12170809 | 12170908 | 12170908 | 11884806 |
| 副送り歯 | 12172904 | 12172904 | 12173407 | 12173407 | 12173407 | 11885902 |
| 針板 | R4508J0DD0B | R4508J6ED0B | R4608J0FD0A | R4612J6FD0A | R4617J0HD0A | R4612J0DE02 |
| ※ひだ取り押え | — | — | — | — | ※MAS0510800A | — |

※ ひだ取り押えはRH6のときのみ交換します。

(2) オーバーロック系 (MO-3 △ 04, 3 △ 14, 6 △ 14) S160, S162 のとき

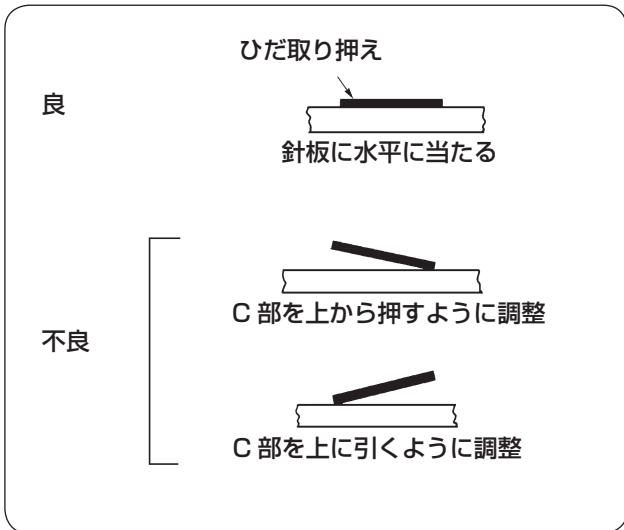
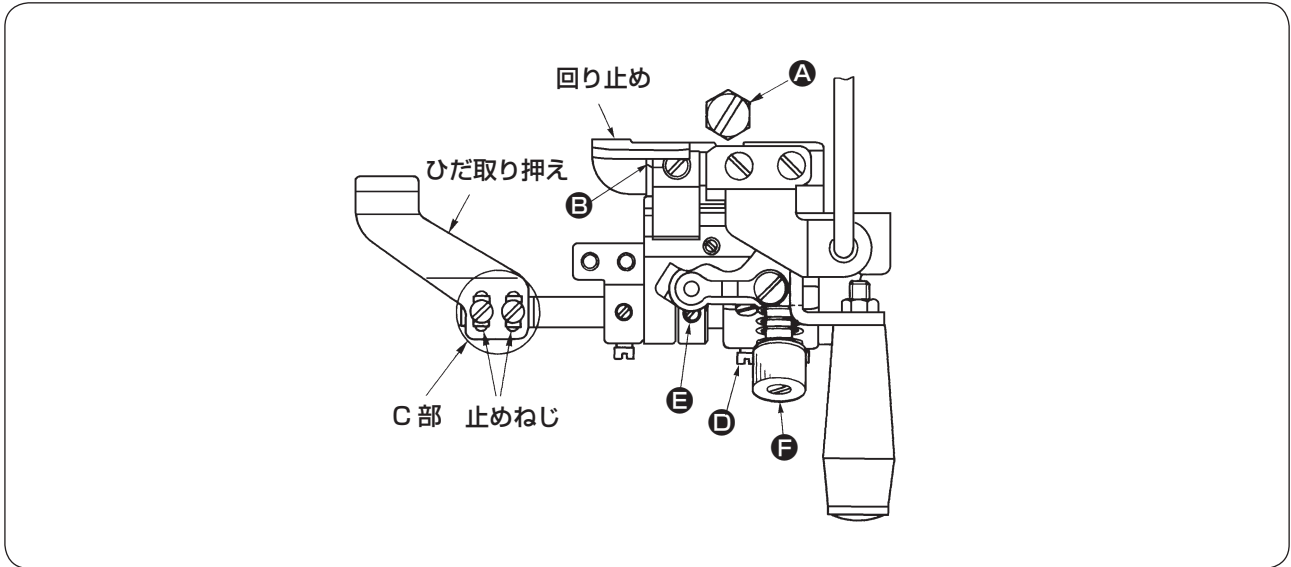
| ゲージサイズ 名称 | OE6 | OF6 | BD6 | BE6 | BF6 |
|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 押え結合 | 11878857 | 11974250 | 11879350 | 11879350 | 12153052 |
| 主送り歯 | 11883402 | 11883402 | 11883402 | 11883402 | 11883402 |
| 副送り歯 | 12171807 | 12171807 | 12171807 | 12171807 | 12171807 |
| 針板 | R4300J0EE0B | R4300J0FE0A | R4305J0DE0A | R4305J6EE0A | R4305J0FE0A |

5. ひだ取り押えの調整



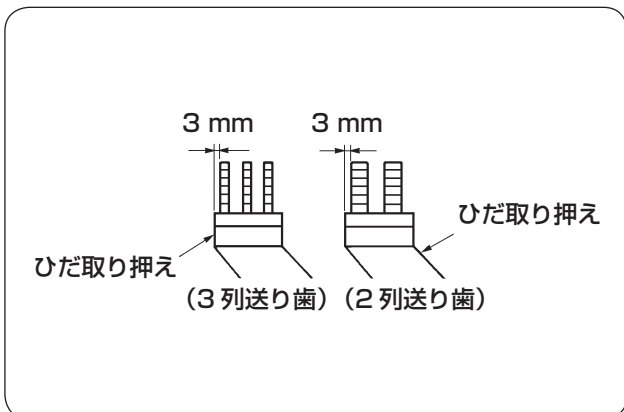
注意

不意の起動による事故を防ぐため、電源を切り、起動ペダルを踏んでもマシンが動かなくなつてから行ってください。



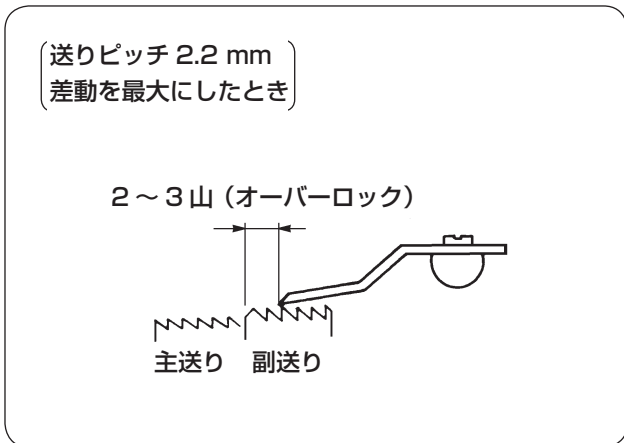
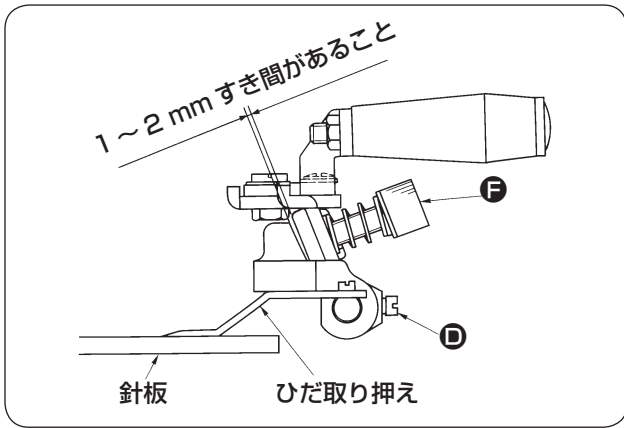
(1) ひだ取り押えは、針板に対し平行に当たるよう調整します。

- ねじ **A** は仮締めにしておき、ねじ **B** をゆるめて調整します。
- 調整が終わったら、ねじ **B** およびねじ **A** を締め付けてください。



(2) ひだ取り押えの上下、左右位置の調整

- 左右方向は、送り歯端から 3 mm になるよう **D** のねじ 2 個とスラストカラーのねじ **E** をゆるめて調整します。



(3) ひだ取り押え前後位置の調整

ひだ取り押えの位置は、標準で副送り歯が送り終り時オーバーロック 2~3山 インターロック 1~2山 です。

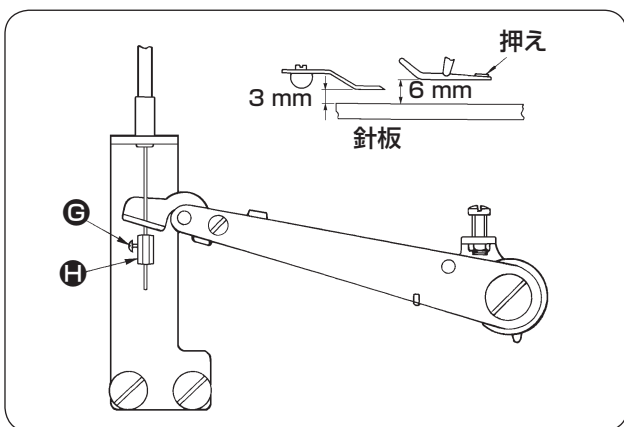
ひだ取り押えを前後することで、ひだの大きさがかわります。素材により合わせてください。

(4) ひだ取り押えの圧の調整

- ひだ取り押え圧は、ひだ取り押え先端の位置において、標準圧 14.7 N ですが、素材により調節してください。(F の調節つまみで行います。)

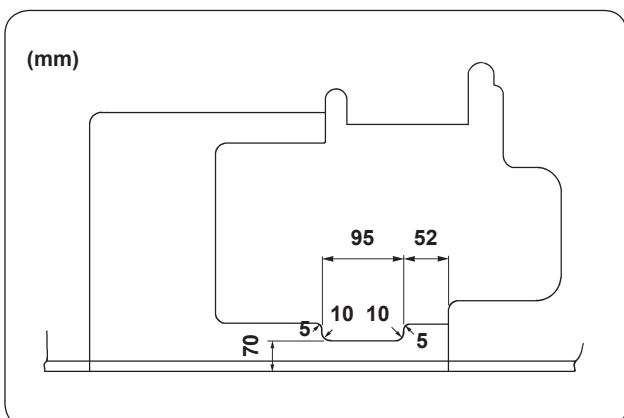
6. ひだ取り押え・押え上げ量の調節 (S159, S160)

| | |
|-----------|---|
| 注意 | 不意の起動による事故を防ぐため、電源を切り、起動ペダルを踏んでもミシンが動かなくなっ てから行ってください。 |
|-----------|---|



- G のねじをゆるめて H を上下して調節します。標準押え上げ量は 3 mm とします。

7. テーブルの修正 (全沈式)



S159, S160 を全沈式で使用する場合は、左記寸法に修正してください。

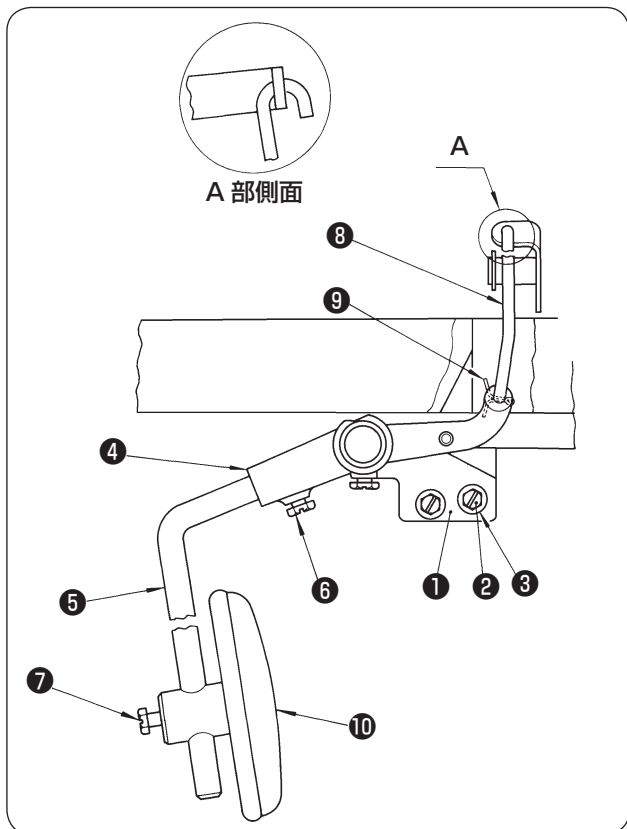
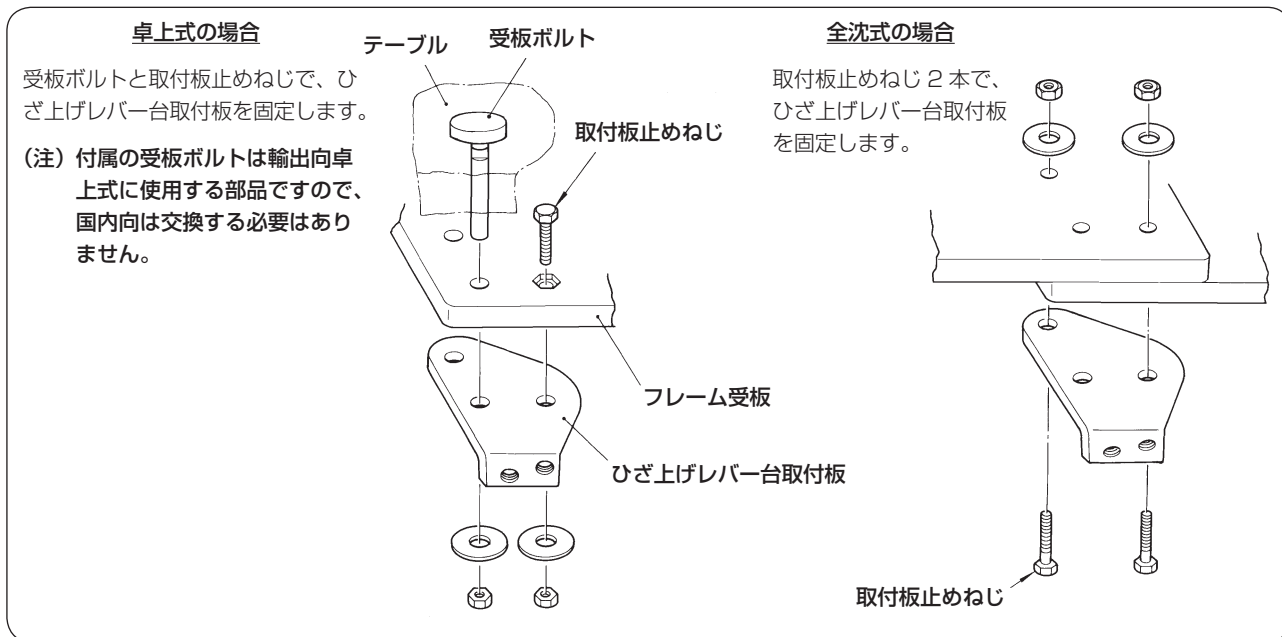
8. ひざ上げ装置の取り付け方



注意

不意の起動による事故を防ぐため、電源を切り、起動ペダルを踏んでもミシンが動かなくなっ
てから行ってください。

(1) ひざ上げレバー台取付板を図のように取り付けます。



(2) ひざ上げ装置をひざ上げレバー台取付板に取り付けます。

- 1) ①のひざ上げレバー台を②③のねじ、座金でフレーム受板に取り付けます。
- 2) ④のひざ上げレバーに⑤の軸を入れて、⑥のねじで締め付けます。
- 3) ⑧のひざ上げ連結棒を差動調節レバー穴に内側から入れ、④のレバー穴に片方を差し込んで割ピン⑨で抜けないようにします。
- 4) ⑩のひざ当板を作業しやすい位置に決め、⑦のねじで固定します。

- 4 -

JUKI

JUKI 株式会社

工業用ミシン事業部

〒206-8551 東京都多摩市鶴牧 2-11-1

TEL. 042-357-2371 (ダイヤルイン)

FAX. 042-357-2274

http://www.juki.co.jp

Copyright © 1998-2010 JUKI CORPORATION

本書の内容を無断で転載、複写することを
禁止します。

この製品の使い方について不明な点がありましたらお求めの販売店又は当社営業所にお問い合わせください。
※ この取扱説明書は仕様改良のため予告なく変更する事があります。